

第1回 伊勢湾漁業影響調査委員会 議事要旨

1. 開催日時：平成26年3月19日 13:30～15:30
2. 場 所：TKP 名古屋ビジネスセンター8A号室
3. 審議内容：現地調査計画
4. 審議結果：現地調査計画及び4月からの調査開始について了承される
5. 委員の発言要旨
 - 漁業及び漁業生物への影響を評価する上で信頼性が担保できる期間、また、伊勢湾シミュレーターの再現性を確保するためのデータが得られる期間、この2点を主眼におき、漁業者や委員会の意見等を聞きながら調査期間を検討していくこと
 - 自動連続観測モニタリングブイ、他機関が実施している調査結果を積極的に活用し、今回の調査とあわせて評価の材料に使っていくべき
 - 空港島護岸が持つ生態系の機能を極力把握し、その機能が伊勢湾全体にどのような役割を担っているか意識して調査してほしい
 - 現在の空港島は環境に配慮した形状になっているため、その形状が変わった場合、どのような変化が起こるかという部分も意識し、調査点の配置を順応的に検討していくこと
 - 測点の追加や場所の変更については、充実した調査にしていくために、委員、専門員等と意思疎通をとりながら検討していくこと
 - 観測データの内、評価に関わる重要な部分については、節目節目で委員、専門員に示し考え方を聞きながら検討を進めること
 - 新土砂処分場が漁業の操業方法に与える影響についても、漁業者とコミュニケーションをとり調査を進めていくこと
 - 中部国際空港の西側の海域がどのような漁業に利用されていて、海域がどのような状態になっているのか、漁業の操業方法を含めて情報を早めに提示して頂きたい